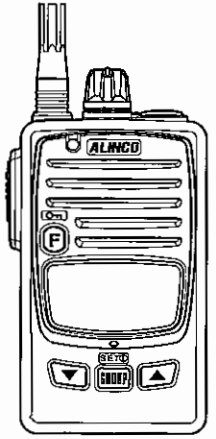
**ALINCO**

特定小電力ハンディトランシーバー
(総務省技術基準適合品)

# DJ-P221

# 取扱説明書

本書には基本的な操作方法を記載しています。
拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。

アルインコのトランシーバーをお買い上げいただきましてありがとうございます。本製品の機能を充分に発揮させ、効果的にご使用いただくため、この取扱説明書をご使用前に最後までお読みください。アフターサービスなどについても記載していますのでこの取扱説明書は大切に保管してください。また、補足シートや正誤表が入っている場合は、取扱説明書と合わせて保管してください。ご使用中の不明な点や不具合が生じたとき、お役に立ちます。本製品は免許・資格不要の特定小電力無線電話として、各種通信にお使いいただけます。


アルインコ株式会社 電子事業部

東京営業所 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3番4号 日本橋プラザビル14階 TEL.03-3278-5888
大阪営業所 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4丁目4番9号 淀屋橋ダイビル13階 TEL.06-7636-2361
福岡営業所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1丁目3番6号 第3博多偕成ビル7階 TEL.092-473-8034


**アフターサービスに関するお問い合わせは**

お買い上げの販売店または、フリーダイアル 0120-464-007
全国どこからでも無料で、サービス窓口につながります。
受付時間/10:00~17:00月曜~金曜(祝祭日及び12:00~13:00は除きます)
ホームページ http://www.alinco.co.jp/ 「電子事業」をご覧ください。


PS0784B
FNEG-NJ


## 使用前のご注意

### ■ご使用環境
高温、多湿、直射日光の当たるところ、粉じんの多い場所は避けてお使いください。

### ■分解しないで
特定小電力トランシーバーの改造、変更は法律で禁止されています。分解したり内部を開けることは絶対にしないでください。

### ■ご使用禁止場所
本機は総務省技術基準適合品ですが、使用場所によっては思わぬ電波障害を引き起こすことがあります。次のような場所では使用しないでください。
(航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺、病院内など)

日本国内でのみ使用してください。
This product is permitted for use in Japan only.

### ■通信距離
通信できる距離は周囲の状況によって大きく異なります。
- 海上、山頂など条件のよい所 :2kmまたはそれ以上
- 河原など障害物のない平地 :500m~1km程度
- 見通しのよい道、郊外の住宅地:500m程度
- 市街地のような障害物の多い所:200m程度

注意 ローパワー時は、半分以下になります。

### ■外郭保護性能について
指定の純正防水型アクセサリーを本体に装着することで、IP67相当の耐塵防水になります。ただし、常に水しぶきや海水、油脂、薬品がかかる環境や、鉄粉が飛散するような環境での使用で発生する不具合については保証しておりません。また、すべての製品を出荷前に検査してその性能を保証するものではない「相当品」ですので、水没、流水での洗浄は絶対におやめください。濡れたときは乾いた布で手早く拭き取り、電池を抜いて内部をよく乾燥させてください。防水素材は時間が経つと劣化しますので、弊社では外郭保護性能についても製品と同じ保証期間とさせていただいております。

### ■バッテリーセーブについて
電池の消耗を防ぐ機能です。受信待ち受け状態で約5秒間キー操作がないとこの機能が動作します。信号を受信するか、キー操作がおこなわれるとバッテリーセーブは解除されます。バッテリーセーブ動作時に信号を受信すると、通話の始めが途切れる場合がありますが、異常ではありません。

### ■障害物
本機に採用されている電波は直進性が高いため、間にビルや橋脚、または山や丘陵等の障害物があると通信できる距離が短くなります。

## 特定小電力の通信制限について

特定小電力トランシーバーの通信に関する制限事項について説明します。

### 3分制限(3分以上は連続で送信できません)

10秒前に警告音が鳴ります。通信時間が合計3分になると自動的に送信は停止します。
中継通信の場合も連続した中継動作が3分を越えるとタイムアウトします。

注意 3分の通信時間制限により、自動的に通信が停止した後は、約2秒たたないと次の送信はできません。

### キャリアセンス(受信中は送信できません)

一定の強さ以上の信号を受信しているときは[PTT]キーを押しても送信できません。
受信中に[PTT]キーを押すとアラーム音が鳴り、送信できないことをお知らせします。

注意 ビープをOFFにしているとき、アラーム音は鳴りません。

## 安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前にお読みください。

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損失を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

| 表示 | 表示の意味 |
|---|---|
| ⚠危険 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。 |
| ⚠警告 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| ⚠注意 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

| 図記号 | 表示の意味 |
|---|---|
| ⚠ | △記号は、注意(危険・警告含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中には具体的な注意内容が描かれています。 |
| ⃠ | ○記号は、行為の禁止であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。 |
| ● | ●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合はACアダプターをコンセントから抜け)が描かれています。 |

本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因にて通信などの機会を失ったために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## ⚠警告

### ■使用環境・条件

この製品を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。
This product is permitted for use in Japan only.

この製品を人命救助などの目的で使用して、万一、故障・誤動作などが原因で人命が失われることがあっても、製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

この製品どうし、または他の無線機とともに至近距離で複数台使用しないでください。お互いの影響により故障・誤動作・不具合の原因となります。

この製品を何らかのシステムや電子機器の一部として組み込んで使用した場合、いかなる誤動作・不具合が生じても製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

指定以外のオプションや他社のアクセサリー製品を接続しないでください。故障の原因となります。

自動車などの運転中に使用しないでください。交通事故の原因となります。
運転者が使用するときは車を安全な場所に止めてからご使用ください。携帯型無線機を運転者が走行中に使用すると道路交通法違反で罰せられます。

電子機器の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。

内部から漏れた液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺では使用しないでください。
運行の安全や無線局の運用、放送の受信に支障をきたしたり、各種機器が故障・誤動作する原因となります。
病院や医療機関では、医療機器などに支障がないか十分に確認の上、管理者の許可のもとご使用ください。
無線機を使用したことによって、いかなる誤動作・不具合が生じても、当社は一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

### ■トランシーバー本体の取り扱いについて

イヤホンを使用する場合、あらかじめ音量を下げてください。聴力障害の原因になることがあります。

このトランシーバーは調整済みです。特定小電力トランシーバーをユーザーが改造、変更することは法律で禁止されています。
サイズ違いのアンテナに交換することはできません。

布や布団で覆ったりしないでください。熱がこもり、ケースが変形したり、火災の原因となります。直射日光を避けて風通しの良い状態でご使用ください。

水をかけたり、水が入ったりしないよう、また故意にぬらさないようにご注意ください。故障の原因となります。

防浸保護には条件があります。
水などでぬれやすい場所(風呂場など)では使用しないでください。故障の原因となります。

近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

### ■充電器の取り扱いについて

指定以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

充電器のACプラグのコードをタコ足配線しないでください。加熱・発火の原因となります。

ぬれた手で充電器のACアダプターに触れたり、抜き差ししないでください。感電の原因となります。

充電器のACアダプターを、ACコンセントに確実に差し込んでください。ACアダプターの刃に金具などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。

充電器のACアダプターの刃に、ほこりが付着したまま使用しないでください。ショートや加熱により火災・感電・故障の原因となります。

### ■異常時の処置について

以下の場合は、すぐ本体の電源をOFFにして、電池を取り外し、充電器をご使用の場合は、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。異常な状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。修理はお買い上げの販売店、または当社サービス窓口にご連絡ください。お客様による修理は、違法ですから、絶対にお止めください。

- ■異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするとき
- ■落としたり、ケースを破損したりしたとき
- ■内部に水や異物が入ったとき
- ■ACアダプターのコードが傷んだとき(芯線の露出や断線など)

雷が鳴り出したら安全のため本体の電源をOFFにし、充電器をご使用の場合はACアダプターをACコンセントから抜いて、ご使用をお控えください。

### ■保守・点検

本体や充電器のケースは、開けないでください。けが・感電・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店または当社サービスセンターにご依頼ください。
製造番号ラベルをはがさないでください。
製造番号がわからないと保証サービスをお受け頂くことができません。

## ⚠注意

### ■使用環境・条件

テレビやラジオの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。

湿度の高い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

グループトーク機能を使用する際、特定の番号において異なる機種との間で通話が途切れる場合があります。このような時は違う番号を選んで通話をお試しください。これはグループトーク機能に使われるトーン信号の精度が機種によってばらつくことによる相性のためであり故障ではありません。

直射日光があたる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がり、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。

調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

電波を使用している関係上、無線機器の通話は第三者による傍受を完全に阻止することはできません。
そのため、機密を要する重要な通話に使用することはお勧めできません。

マイク部にシール類を貼らないでください。
相手に音声が聞こえなくなります。

### ■トランシーバー本体の取り扱いについて

アンテナを誤って目などにささないようにしてください。

イヤホン/マイクロホン端子にはオプションのイヤホン/マイクロホン以外は接続しないでください。故障の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本体の電源をOFFにして、電池を取り外し、充電器をご使用の場合はACアダプターをACコンセントから抜いてください。

衝撃や水分、異物の混入などによる故障の場合は、保証対象外になります。

### ■充電器の取り扱いについて

充電器のACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。必ずACアダプターを持って抜いてください。

充電器のACアダプターを熱器具に近づけないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

### ■保守・点検

汚れた場合は柔らかいきれいな布で乾拭きしてください。
ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤などを使うと外装や文字が変質する恐れがあります。
洗浄剤などを直接無線機に吹き付けないでください。機器内部に浸透し故障の原因となります。

お手入れの際は、安全のため必ず本体の電源をOFFにして、電池を取り外し、充電器をご使用の場合は、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。

製造番号ラベルをはがさないでください。
製造番号がわからないと保証サービスをお受け頂くことができません。

## 付属品と取り付け方

付属品をご確認ください

- □ベルトクリップ(ネジ1本)
- □ハンドストラップ
- □取扱説明書(本書)
- □保証書

注意 保証書にご購入の日付が記載されていないときは、領収書・レシートを保証書といっしょに保管してください。ご購入日が証明できる書類がないと保証サービスは無効となりますのでご注意ください。

### ベルトクリップの取り付け

ベルトクリップをネジで本機の背面に取り付けます。

注意 定期的に、ネジにゆるみがないか点検してください。ベルトクリップは消耗品です。スペアー部品として販売していますので、お買い求めの際は販売店にご相談ください。
ベルトクリップ(ネジ付き):EBC-29

### ハンドストラップの取り付け

本機背面上部にあるストラップ用の通し穴に取り付けます。

## 電池の入れ方

①電池フタを左(反時計方向)に回して取り外します。
②単三形乾電池またはニッケル水素充電池(EBP-179)1本を[−]側から入れます。
③電池フタを右(時計方向)に回して取り付けます。

注意
- 電池フタを紛失しないよう注意してください。
- 電池の極性[+/−]を間違えないように入れてください。
- 長期間使用しないときは電池をトランシーバーから取り出してください。

## 充電池および充電器(オプション)

充電池、充電器および関連するアクセサリーは下記のとおりです。

- ●ニッケル水素充電池:EBP-179 (1.2V 1900mAh)
- ●ツイン充電器セット:EDC-179A
- ●連結充電スタンド :EDC-179R
- ●連結用ACアダプター :EDC-162
- ●シングル充電器セット:EDC-181A

充電池は出荷時には十分に充電されていません。お買い上げ後に満充電してからご使用ください。
充電器(EDC-179A/179R/181A)を使用して、空のニッケル水素充電池(EBP-179)を満充電するのに要する時間は約6時間です。

注意 市販の単三形充電池はEBP-179と形状が違うためご使用になれません。
弊社の充電器は、対応する弊社製品専用です。市販の充電池を充電することはできません。

### ツイン充電器セット(EDC-179A)の使用方法

①トランシーバーにニッケル水素充電池(EBP-179)を装着します。
②ACアダプターのプラグを充電スタンド背面のジャックに接続します。
③ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vに接続します。
④トランシーバーを充電スタンドのポケットに挿入します。
充電が開始すると赤色ランプが点灯します。
1台のみ、または2台同時に充電可能です。
⑤充電が完了すると、緑色ランプが点灯します。

### 連結充電スタンド(EDC-179R)の使用方法

連結充電スタンド(EDC-179R)を使用して連結充電するときは、必ず連結用ACアダプター(EDC-162)が必要です。
最大で5台連結し、トランシーバーを10台同時に充電することができます。

①充電スタンドどうしを連結します。ロックレバーが固定されていることを確認してください。
②充電スタンド裏面のコネクタを接続します。
③連結用ACアダプターのコネクタを、端の充電スタンドのコネクタに接続します。
④連結用ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vに接続します。
⑤トランシーバーを充電スタンドのポケットに挿入します。
充電が開始すると赤色ランプが点灯します。
最大で10台同時に充電可能です。
⑥充電が完了すると、緑色ランプが点灯します。

メモ 充電器にトランシーバーを挿入してもうまく充電しないときは、充電端子の汚れを乾いた布で拭き取ってください。

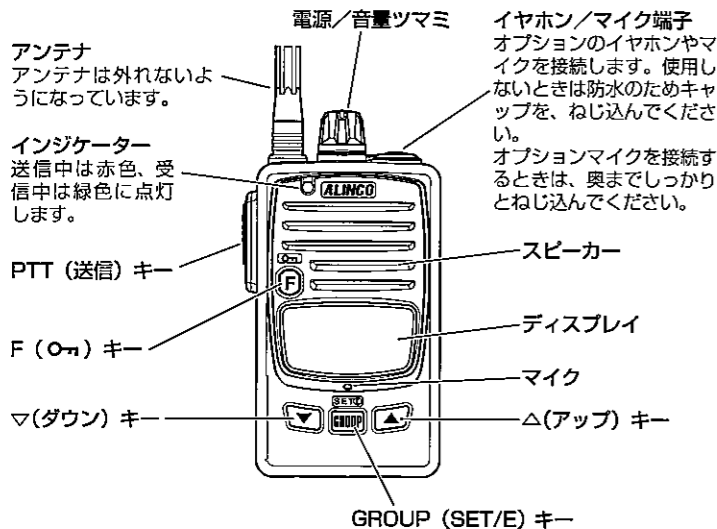
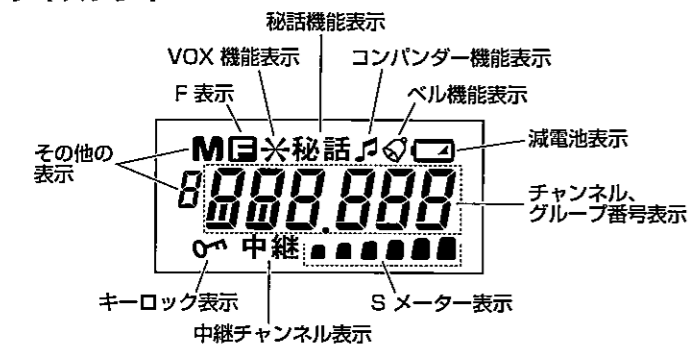
注意 トランシーバーを前方のポケットに挿入すると赤色ランプが点灯するが、後方のポケットに挿入すると緑色ランプが点灯する、あるいはその逆の動作をすることがあります。充電開始を決定する回路の個体差により、このような動作をすることがありますが異常ではありません。無駄な追い充電は電池の劣化を早めます。

注意 ニッケル水素充電池を保存するときは、満充電した状態で高温多湿を避けて保存してください。
ニッケル水素充電池を6ヶ月以上ご使用にならなかったときは、一時的に性能が低下し、使用時間が短くなることがあります。
その場合は、下記の方法でニッケル水素充電池のリフレッシュをおこなってください。

①トランシーバーにニッケル水素充電池を装着します。
②指定の充電器を使用し満充電した後、トランシーバーの電源を入れたまま放置します。
③「減電池表示が出る」「トランシーバーの電源が切れる」など、電池を使い切るのを待って再度充電をおこなってください。
④上記の要領で、充放電を3回程度繰り返します。

リフレッシュをおこなっても、ニッケル水素充電池の使用時間が著しく短い場合は寿命が尽きたものと思われます。新しいものにお取り替えください。

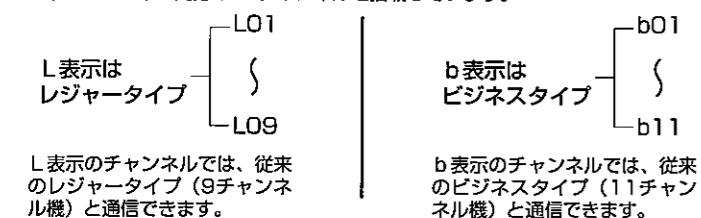
# 各部の名前とはたらき

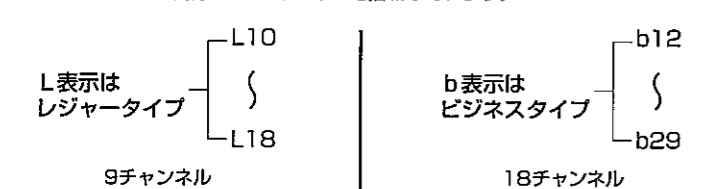
## 前面部

## ディスプレイ

## チャンネル表示について

●交互通話時

レジャー、ビジネス両方の20チャンネルを搭載しています。

L表示のチャンネルでは、従来のレジャータイプ（9チャンネル機）と通信できます。

b表示のチャンネルでは、従来のビジネスタイプ（11チャンネル機）と通信できます。

●中継通信時

レジャー、ビジネス両方の27チャンネルを搭載しています。

# 基本操作

本機の基本となる操作方法を説明します。カスタマイズ方法や拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。

## 交互通話

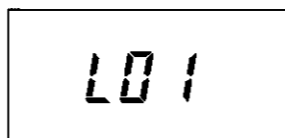
### 電源を入れる

電源／音量ツマミを時計方向に回します。

### 音量を調整する

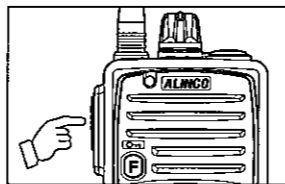
電源／音量ツマミを時計方向に回すと音量が大きくなります。
▽キーと△キーを同時に押すと「ザー」というノイズが聞こえ、音量の目安となります。
適切な音量に調整してください。

### チャンネルを合わせる

▽または△キーを押して交互通話用チャンネルのL01～09、b01～11を選択します。
通話したいトランシーバー全てを同じチャンネルに合わせます。
キーを押し続けると連続してチャンネルが切り替わります。

### 受信する

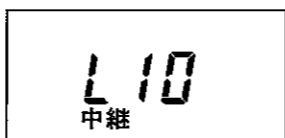
信号を受信するとスピーカーから相手の声が聞こえます。
インジケーターが緑色に点灯し、ディスプレイのSメーターが信号の強さに応じて点灯します。

### 送信する

信号を受信していないことを確認してから[PTT]キーを押します。
→インジケーターが赤色に点灯します。
　[PTT]キーを押しながらマイクに向かって話します。
　マイクと口元は約5cm離してください。
　一定の強さ以上の信号を受信しているときは警告音「ブブブ」が鳴り送信できません。
　[PTT]キーを離すと受信待ち受け状態に戻ります。

## 中継通話

直接の通信では電波が届かない場所にいる相手と中継器を介して通話することができます。
別途、弊社製の中継器が必要です。

### チャンネルを合わせる

▽または△キーを押して中継通話用チャンネルのL10～18、b12～29を選択します。
→「中継」が点灯します。

### 送信する

[PTT]キーを押し続けます。
→直後に「ピピ」という音が鳴ります。
　[PTT]キーを押しながらマイクに向かって話します。

メモ　お使いになる中継器の設定をご確認ください。
中継器にグループトーク機能が設定されている場合は、本機にもグループトーク機能を設定してください。

注意　中継用チャンネルでは、子機どうしの直接通話はできません。
それぞれの機器が至近距離にあると誤動作することがあります。
子機ー中継器間、子機ー子機間は10m以上離してください。

## コールトーン機能

送信中に▽または△キーを押すと、呼び出し音が鳴り相手を呼び出すことができます。▽と△キーでは音色が異なります。

## グループトーク機能

同じグループの人とだけ通話したいときは、グループトーク機能を使用します。

### [GROUP] キーを押す

→グループ番号が点灯します。

### グループ番号を合わせる

[F]キーを押しながら▽または△キーを押して自分のグループのトランシーバーを全て同じグループ番号に合わせます。

グループ番号は01～50を選択できます。

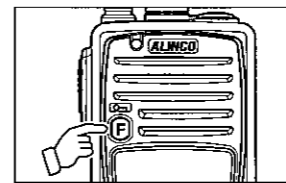
### 送信する

[PTT]キーを押しながらマイクに向かって話します。
→同じチャンネル、同じグループ番号の相手とだけ通話できます。

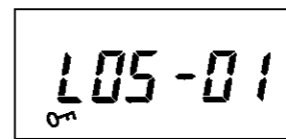
## キーロック

キーロックしておくと誤操作を防止できます。

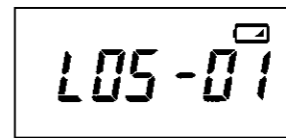
### 簡易キーロック（LoC-1）

[F]キーを約2秒押します。
→「LoC-1」が点滅したあと「O⊸」が点灯します。

解除するには同じキー操作をします。

### 通常キーロック（LoC-2）

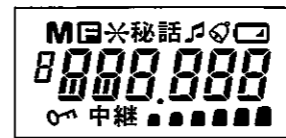
[F] キーと [GROUP] キーを同時に約2秒押します。
→「LoC-2」が点滅したあと「O⊸」が点灯します。

解除するには同じキー操作をします。

## 減電池表示

電池の残量が少なくなると「▭」が点灯し、電池の交換時期が近づいていることをお知らせします。
さらに残量が少なくなると「▭」が点滅します。
点滅したら新しい電池と交換してください。

メモ　「電源が入らない」「オンオフを繰り返す」「ディスプレイ表示が消える」「ハウリング」などの症状が出た場合も電池の消耗が考えられるため、新しい電池と交換してください。
電池選択（セットモード）設定が適正でないと正しいタイミングで電池交換時期を表示しません。

## リセット

設定状態がわからなくなったときに初期化します。

[F]キーを押しながら電源を入れます。
→ディスプレイ全点灯中に[F]キーを離します。
→工場出荷状態のL01チャンネルになります。

# その他の機能

本書には記載していない拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。
http://www.alinco.co.jp/「電子事業」

### デュアルオペレーションモード

メイン／サブの2つのチャンネルを1秒ごとに交互受信し、そのどちらとも通話することができるモードです。1台のトランシーバーで2台のはたらきをします。

### リモコンモード

本機をリモコンとして、中継器のチャンネルなどを遠隔操作する機能です。本機能は、中継器DJ-P101R、DJ-P111R、DJ-P112Rに対応しています。

メモ　誤ってこれらのモードに切り替わり、ディスプレイにおかしな表示が出たときは電源を入れ直すと正常な状態に回復することがあります。

# セットモード

各種機能を用途やお好みに合わせてカスタマイズすることができます。

## セットモードにする

①[F]キーを押しながら[SET]キーを押します。
→セットモードに入り項目が表示されます。
②[SET]キーを押すごとに項目が切り替わります。
　[F]キーを押すと前項目に戻ります。
③▽または△キーを押して設定値を変更します。
④[PTT]キーを押して設定を完了します。

メモ　セットモードについての詳しい内容は、弊社ホームページをご覧ください。
http://www.alinco.co.jp/「電子事業」

| セットモード | 機能説明 | 選択項目 | 初期値 |
|---|---|---|---|
| bAt-AL | 電池選択（アルカリ／ニッケル水素） | AL / ni | AL |
| CmP-oF | コンパンダー（雑音低減） | OFF / ON | OFF |
| vo-oF | VOX（音声検出送信） | OFF / Lo / Hi | OFF |
| Scr-oF | 秘話 | OFF / ON | OFF |
| bP-Lo | ビープ音量（操作音） | OFF / Lo / Hi | Lo |
| EdP-on | エンドピー（送信終了音） | OFF / ON | ON |
| bEL-oF | ベル（呼び出しお知らせ） | OFF / ON | OFF |
| LmP-5 | ランプ | OFF / 5秒 / ON | 5秒 |
| HLd-oF | PTT ホールド（送信保持） | OFF / ON | OFF |
| Ptt−on | PTT オンオフ（送信禁止） | OFF / ON | ON |
| At-on2 | 中継器接続手順 | OFF / ON1 / ON2 | ON2 |
| EAr-on | イヤホン断線検知 | OFF / ON | ON |
| CLb-oF | コールバック | OFF / ON | OFF |
| PwL-Hi | 送信出力（Hi: 10mW / Lo: 1mW） | Lo / Hi | Hi |
| EmG-oF | 緊急通報機能（「SET/E」長押しで通報） | OFF / ON | OFF |

# 故障とお考えになる前に

| 症状 | 原因 | 処置 |
|---|---|---|
| 電源が入らない。表示が消える。 | 電池の入れ方が間違っている。 | 電池を正しく入れ直してください。新しい電池と交換してください。 |
| | 電池が消耗している。 | 充電池を充電してください。 |
| 音が出ない。受信しない。 | 音量が低すぎる。 | 適切な音量に調整してください。 |
| | チャンネルが違う。 | 同じチャンネルに合わせてください。 |
| | グループ番号が違う。 | 同じグループ番号に合わせてください。 |
| 送信できない。 | 信号を受信している。 | 信号がなくなってから送信するか、チャンネルを変更してください。 |
| | 3分の通信制限時間を超過している。 | [PTT]キーを離し2秒たってから送信してください。 |
| キー操作できない。 | キーロックされている。 | キーロックを解除してください。 |
| 充電しない | 充電端子が汚れている。 | 充電端子の汚れを乾いた布で拭き取ってください。 |
| | 充電池が専用品でない。 | 専用充電池EPB-179を使用してください。 |

処置を実施しても異常が続くときはリセットしてください。
電池が消耗していると誤動作することがあります。新しい電池に交換してください。

# 製造中止製品に対する保守年限に関して

生産終了製品に関しては下記の一定期間補修用部品を常備しています。
不測の事態により在庫がなくなる場合もあり、修理ができないこともありますのでご了承ください。
補修用部品の保有期間は生産終了後5年です。

# オプション一覧

EBP-179　ニッケル水素充電池
EDC-179A　ツイン充電器セット（ACアダプタEDC-122付き）
EDC-179R　連結ツイン充電スタンド（別売 EDC-162 が必要）
EDC-181A　シングル充電器セット
EDC-162　連結充電用大容量 AC アダプター
EMS-62（※1）　スピーカーマイク（防水プラグ）
EMS-71（※1）　防水スピーカーマイク（防水プラグ）
EME-32A　イヤホンマイク（業務仕様・防水プラグ）
EME-36A　イヤホンマイク（防水プラグ）
EME-48A　イヤホンマイク（防水プラグ）
EME-58　イヤホン（耳かけ式）
EME-59A　イヤホンマイク
EDS-14　プラグ変換ケーブル（防水プラグ）
ESC-51　ソフトケース

（※1）スピーカーマイクは、PTT ホールド機能、VOX 機能が使用できません。
　　上記以外のオプションマイク製品を使用するには、別途プラグ変換ケーブル（EDS-14）が必要です。

# 定格

| | | |
|---|---|---|
| 送受信周波数 | レジャーチャンネル | 421.8125~421.9125MHz（受信） |
| | | 422.2000~422.3000MHz |
| | | 440.2625~440.3625MHz（送信） |
| | ビジネスチャンネル | 421.5750~421.7875MHz（受信） |
| | | 422.0500~422.1750MHz |
| | | 440.0250~440.2375MHz（送信） |
| 周波数制御チャンネル | 421.8000 / 440.2500MHz | |
| 電波形式 | F3E (FM) / F1D (FSK) | |
| 送信出力 | 10mW/1mW | |
| 受信感度 | -14dBu（12dB SINAD） | |
| 音声出力 | 50mW以上（内部スピーカー）/15mW以上（外部出力） | |
| 通信方式 | 単信、半複信 | |
| 定格電圧 | DC1.5V（単三形電池1本）/ DC1.2V（EBP-179使用時） | |
| 動作温度範囲 | -10~+50℃ | |
| 寸法 | 突起物(ダイヤル・アンテナ)除く　幅54mm×高さ92mm<br>電池収納部の突起除く厚さ17mm(厚さ最大28.5mm) | |
| アンテナ長 | L：約16cm　M：約7.5cm | |
| 重量 | L：約136g（単三形電池1本含む）<br>M：約126g（単三形電池1本含む） | |

仕様・定格は予告なく変更する場合があります。
本書の説明用イラストは、実物とは字体や形状が異なったり、一部の表示を省略している場合があります。